

学校名 草加市立谷塚中学校

所在地 草加市谷塚上町6-2

電話 048-925-2421

1 本校の概要

本校では、「学び合う生徒、思いやる生徒、高め合う生徒」という教育目標の下に文武両道の生徒の育成を目指している。図書教育としては、毎週火・木曜日に朝読書を全校で取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ コロナ禍での図書館利用
- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

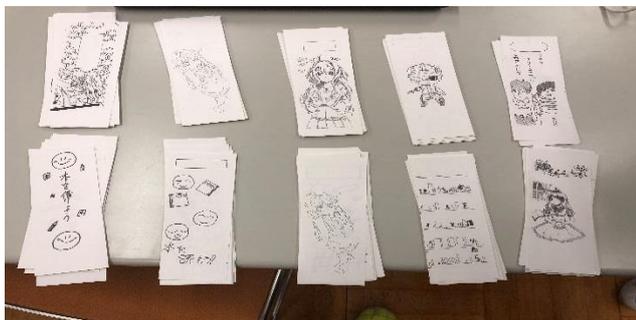
本年は新型コロナウイルス対策として、学校図書館の利用の方法にかなりの制限がかかった。その環境下でも生徒には本と触れ合う機会を減らしてほしくないという思いから、図書委員と協力をして解決方法を考えることにした。

ア 学級文庫の設置

図書委員からの提案で、書く学級に図書委員が選出した学級文庫を設けて少しでも本に触れる機会を増やせるようにした。

イ スタンプラリー及び、しおり作成・配布

学校図書館に来館する生徒に、最後まで本を読んでもらいたいと思いからスタンプラリーを開催して、しおりを配布した。



ウ 学校図書館内の利用に関する掲示

生徒が安心して学校図書館を利用できるよう、一席ずつ間隔を開けることができるよう、座席に案内シートを貼った。

また、マーカーを付け、貸出しの際間隔をあけて並ぶことができるようにした。

エ 図書掲示の充実

図書館に足を運ぶ生徒数を増加させる為に、常に新しい情報が書かれた掲示を行っている。



オ リクエストによる入荷

生徒が興味のある本を取り入れるために、入荷して欲しい本をリクエストしてもらっている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学級文庫の設置

図書委員が主体的に工夫を考え、教室でも多くの図書を手にできるよう学級文庫を設置した。

イ 朝読書や読書感想文で学校図書館の本を用いる生徒の増加

朝読書のための本を昼休みに図書館に借りにくる生徒が増加した。教室を回っても学校図書館の本を読書している生徒が多く見られる。

(2) 課題

ア 返却期日が守られない

貸出数の増加に比例して、返却期日を守らない生徒も増加しており、学級によっては10人を越える生徒に督促状を渡すこともある。

イ 授業での活用が少ない

教科の特性上、国語科や社会科の学校図書館利用率に比べて他教科の利用が著しく劣る。

(3) おわりに

本年は学校図書館の運営にも新型コロナウイルスの影響で、返却本を一度消毒するため生徒に次の貸し出しが遅くなってしまうなど様々な制限がかかった。しかしその反面、学年毎で優先週を設けることで密にならずに生徒と図書の関わりを切らないようにしたり、学級文庫を設置したりと、今年だからこそできた活動もあった。この状況を脱しても、今年度有効であった取組等を生かして、よりよい学校図書館運営を生徒と協力して実施していきたい。